

としょかん 図書館ってどんなところ？

さかいしりつきたとしょかん
堺市立北図書館

としょかん なに
図書館は何をすることでしょうか？ えほん よ
絵本を読むところ？ しょうせつ
小説をかりる
ところ？ ずかん み
図鑑を見るところ？ べんきょう
勉強するところ¹？ しら
調べものをするところ？

これらはすべてせいかい
正解です。まとめると、としょかん
図書館でできることは大きく2つに
なります。

- たの
楽しむ
- しら
調べる

としょかん
図書館はそのためにいろいろ
色々なサービスをしています。たいせつ
大切なものの1つ
に、それぞれの人がほしい資料²を見つけれられるようにする、というものがあ
ります。これをレファレンスサービスといいます。

¹ きたとしょかん つくえ すく
北図書館は机が少ないので、としょかん
図書館でなくともできるじしゅう
自習はお断りしています。

² としょかん ほん しんぶん
図書館では、本や新聞、DVD、でんししよせき
電子書籍、データベースなどをあ
合わせて資料や情報
しげん
資源といいます。

レファレンスサービスは大きく2つに分けられます³。

- 事前じゅんび
- 相談

事前じゅんびでは、資料を内容ごとに分けてなべたり、検索機で調べられるようにしたりします。

相談では、司書が資料を探すお手伝いをします。

また、みんなが資料を手に入れられるよう、図書館では資料を買ったり⁴、ほかの図書館からかりてきたりします。とくに調べものをするときは、たくさん資料が必要になるので、たくさん資料を図書館にそろえておく必要があります。

³ 相談だけをさしてレファレンスサービスということもよくあります。

⁴ 今ではインターネットで無料で色々な情報が手に入るので、図書館で資料を買う必要はない、という人もいます。しかしよい情報にはお金がかかかりますので、やはり買う必要があります。図書館では電子書籍や、新聞・辞書データベースなどを買っていません。ぜひ使ってみてください。